



やまもと

山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県立高校普通教室への空調

夏休み中にすべて設置

12月定例県議会代表質問



自民党を代表して質問する山本義一県議

住み良いふるさとづくりに全力を上げている山本義一県議(八街市選出、3期)は12月定例県議会で自民党を代表して質問に立ち、県政が抱えるさまざまな課題の現状や対応を県執行部に質しました。自民党千葉県連の緊急要望書にに応じて、空調設備がない県立高校普通教室に空調を設置する費用が補正予算案に計上されましたが、山本県議の質問に対して、森田知事は夏休み中に設置を終えたい考えを明らかにしました。山本県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

設置済みの空調費用

4月から県の負担に

山本議員 9月議会の我が党の代表質問において、今年の夏の異常な暑さを踏まえ、県立高校への空調整備の必要性について質問をした。その後子どもを持つ多くの保護者の方から大きな反響が寄せられ、10月には、我が党幹部より知事に対し学校の空調整備に関する緊急要望書を手渡した。

高校について、未設置校の普通教室に一日も早く空調を整備するとともに、既に保護者により設置していただいた空調の費用についても、早期に県負担に切り替えることを求めた。

これに対し知事からは、「要望を重く受け止め、対応を鋭意検討する」旨の回答があり、今議会において、県立高校の空調整備に係る補正予算案が上程された。

そこで、県立高校における普通教室の空調設備の整備の見込みはどうか。また、保護者により普通教室に設置された空調設備の費用負担については、どのように対応するのか。

知事 今年の夏は例年がない猛暑である。

幼稚園 保育室

1割が空調未設置

調設備が設置されており、一方、幼稚園においては、約1割弱の保育

山本議員 私立学校における普通教室等の空調設備の状況はどうか。また、未設置校に対して、今後どのように対応するのか。

副知事 県内私立学校の設置状況を調査したところ、小学校、中学校、高等学校において、通常授業で使用している普通教室については、全て空調設備が設置されており、幼稚園においては、約1割弱の保育

り、来年以降も厳しい暑さが続くことを見込まれています。熱中症の予防など、生徒の安全に万全を期すため、普通教室に空調が設置されていない県立高校について、遅くとも来年の夏休み中に整備を終えたいと考えてお

り、12月補正予算案に債務負担行為を計上したところだ。また、既に保護者の負担で普通教室に設置された、空調のリース費用等については、来年度から県負担とする予算案を、2月定例県議会にご提案したいと考えています。

要望 山本議員 普通教室の空調について「来年の夏休み中に整備を終えたい」との答弁があった。

大規模な整備であり、全国的に学校への空調整備が進められる中、日程も厳しく大変だが、生徒たちのためにも一日も早く整備されるよう、強く要望する。

いじめ、小学校低学年で増加顕著

山本議員 いじめ認知件数が増加していることについて、県教育委員会はどうか考えるか。

教育長 本県において、いじめの認知件数が年々増加していることは、県教育委員会として重く受け止めています。このことは各学校が積極的に認知していること、いじめが深刻にならないよう、速やかに学校全体で対応することが重要と考えています。

県教育委員会では全教職員に、いじめ防止対策推進条例等を周知しつつ、喧嘩やふざけ合いであっても背景にいじめが隠れていると調査し、組織的に対応するよう指導しています。

また近年、小学校低学年において増加が顕著であることから、新入生の保護者全員にリーフレットを配付し、日頃からいじめの被害や加害のサインを見逃さず、早めに学校に相談する等の協力を求めています。

今後も、学校と家庭の連携を強化し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めてまいります。

企業土地管理局の残余資金 有効活用へ社会資本整備基金



県執行部の答弁に対し、再質問する山本義一県議

山本議員 来年4月に、企業土地管理局は水道局と統合して「企業局」となることが決まり、いよいよ前身の企業庁から続く歴史に、大きな区切りを迎えることになった。

組織の統合に当たっては、これまでの土地造成事業によって生じた、いわゆる「残余資金」を一般会計に繰出すこととされている。我が党としても、残余資金の使途については、「過性のものではなく、将来的な県の発展の礎となる社会資本・社会基盤の整備のため、大切に活用していくべきである」と主張してきたが、改めて、その具体的な使途等の検討が重要で、

設置し、「道路ネットワークをはじめ、人とモノの流れを活発にするための交流基盤の整備」「地域経済の活性化に向け、県内の産業振興のための基盤整備」(県民が安心して暮らせる質の高い医療を提供するための県立病院の整備)などを促進してまいります。

また、財政健全化計画における積立目標も踏まえ、県有施設長寿命化等推進基金への積み増しも併せて行い、県有施設の長寿命化対策をさらに加速させてまいります。

また、来年度、県内医療機関で初期臨床研修を行う予定者は425人で、前年度からの増加数36人は、全国最多の増加数となりま

山本議員 医師の確保は喫緊の課題。そこだろうか。うが、県内の医師確保にどのように取り組んでいるのか。

知事 県では、医学生に対する修学資金の貸付け、

研修医確保に向けたピーアール、自治体病院への医師派遣など、様々な取り組みを進めています。

現在、修学資金受給者のうち68名が県内の病院に

勤務しており、今年度、新たに医師であるキャリアコ

ーディネータを医療整備課内に配置し、医師不足地域の病院における医師確保に

向けた取り組みを進めてい

県内での臨床研修予定者

全国最多の増加予定

県内の交通事故死者 半数が高齢者

山本議員 本年の交通事故死者の発生状況と特徴はどうか。

警察本部長 本年は、昨年に比べ、交通事故発生件数、負傷者数は減少してい

る一方、交通事故死者は増加傾向にあり、10月末現在では、147人で、前年比32

人の増加となっているところ

です。

また、11月末現在では、交

通事故死者は167人で、前年比33人の増加と、引き

続き厳しい状況にあります。

本年の交通死亡事故の特徴としては、高齢者が依然として死者数全体の約5割

を占めているほか、時間帯別では、昼間帯の事故が86

件で、夜間帯の事故の58件

を大きく上回り、特に、早朝

の午前5時台から通勤時間帯の午前9時台にかけて多く

発生していること、状態

別では、四輪乗車中の死者

が48人と最も多く、次いで

歩行中が41人であり、この

歩行中死者の約7割は高齢

者であること、発生場所別

では、約6割が交差点及び

交差点付近の発生であること

要望

山本議員 県警

では、県内の交通事故

故抑止に向けて、飲酒運転

速度超過、一時不停止、携帯

電話の使用、無灯火走行、シ

ートベルト非着用などの交

通取締りを県内各地で行っ

ているところだが、まだま

だ交通違反をする人が後を

絶たないのが現状である。

こうした危険な違反車両

の取締りは、引き続き適切

に進めていただくとともに、

運転者にマナーやルールを

徹底していただけるよう街

頭監視や指導の機会をより

強化するよう要望する。

警察官がいるだけで抑止

効果があり、また指導の効

果により交通死亡事故の防

止につながると考えている。

今回の訪問で、外国人介護

人材の受入れに当たっては、

相談サポ